

# 「韓国無視」演説の内幕

安倍晋三首相は通常国会冒頭、1月28日の「施政方針演説」で、韓国について触れず「戦略的無視」と報じられた。自民党の河井克行総裁外交特別補佐「写真」が内幕を語った。



「安倍首相の施政方針演説は7回目になるが、2014年に『戦略的価値を共有する最も重要な隣国』と表現して以来、韓国について、この言い方が続いてきた。文在寅(ムン・ジェイン)政権になり、15年の慰安婦合意に不安が出てきた。

昨年1月の演説では『(文氏とは)これまでの両国間の国際約束、相互の信頼の積み重ねの上で』と述べた。今回初めて、韓国に触れなかった。その背景は、「これまで積み重ねてきた友好関係が最近、連続して起きたこと(一)いわゆる『元徴用工』の異常判決などによって踏みにじられた。不信任、失望の表れだ。この2年、『国際約束を守れ』とクギを刺してきたのに」

「次はポイント。『施政方針演説に書くとしたら、韓国に厳しいことを言わざるを得ない。韓国はまた反発する。さらに関係が悪化する。関係悪化の責任を、日本に転嫁する恐れがある。そこで『いいぞ、書かないことにしよう』となった。書かなかったことは、決定的決裂や断絶を避ける、むしろ韓国への精いっぱい思い

## 鈴木棟一の風雲永田町

5996

「いま日米韓の3カ国同盟があるが、文政権がこれから抜けるのではないか」との見方だ。英国がEU(欧州連合)から抜ける『ブレグジット』をもじって『コリグジット』との言い方も聞いた」

やりだ」

河井氏は1月7日から1週間、ワシントンで上下両院議員、大統領側近、シンクタンク幹部ら約20人と会談した。「米韓同盟の将来について厳しい見方が、共和党だけでな

く、民主党議員からも出た。『3月1日の『3・1運動』に気を付けよ。独立運動の100周年だ。民族意識が高揚し、反日に拍車がかかる』ベテラン記者が言った。

「文大統領は日米との結びつきより、北朝鮮の金正恩(キム・ジョンウン)朝鮮労働党委員長との統一国家樹立に重要目標を置いている」朝鮮専門家から、次の忠告を受けたという。

「3月1日の『3・1運動』

「安倍首相が無視したのは正しい。言つと向こうは、それを捉えて『反日』をエスカレートさせる。といって、触れなければ触れないで文句を付ける。性悪女に引かかったようなものだ。文大統領には2つの信念がある。まず、『朝鮮民族が1つになるのは正しい』。もう1つは、『中国型の社会主義国家がいい』。この文大統領の交代を待つしかないだろう」

(政治評論家)

## 河井特別補佐「不信、失望の表れ」